

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考	
本 部	7月21日(金)	コンクリート標準示方書改訂主旨説明会	札幌市	6号3ページ参照	
	7月26日(水) ~29日(土)	水工学に関する夏期研修会	名古屋市	6号4 "	
	7月31日(月)	同	同	6号4 "	
	8月3日(木)				
	8月3日(木) ~4日(金)	夏期講習会	東京	6号3 "	
	9月2日(土) ~3日(日)	第4回衛生工学研究討論会	北海道	7号5 "	
	10月19日(木) ~20日(金)	第14回海岸工学講演会	横浜市	7号4 "	
	10月25日(水) ~26日(木)	第9回地震工学研究発表会	土木学会	7号6 "	
中部支部	7月10日(木) ~11日(金)	技 術 講 座	名古屋市	7号8 "	
関西支部	11月12日(日)	年次学術講演会	未 定	7号7 "	
西部支部	8月24日(木)	夏期講習会 見 学 会	宮 崎 県	7号8 "	
	8月25日(金)		鹿 児 島 県	7号8 "	
そ の 他	7月18日(火) ~21日(金)	金属の物理的性質講習会	東京	4号8 "	
	8月22日(火) ~25日(金)	応力測定に関する講習会	名古屋市	6号7 "	
	8月28日(月) ~29日(火)	高分子材料の強度に関する講習会	東京	6号8 "	
	8月28日(日) ~9月1日(金)	第6回宅地造成技術講習会	東京 京都	7号4 "	
	9月8日(金) ~9日(土)	第11回材料研究連合講演会	東京	7号5 "	
	10月19日(木) ~20日(金)	第17回応用力学連合講演会	東京	7号5 "	
	10月23日(月) ~24日(火)	第4回災害科学総合シンポジウム	北海道	7号6 "	
	11月28日(火) ~29日(水)	第2回岩の力学シンポジウム	東京	6号6 "	
	11月29日(火)	第8回構造の軽量化に関するシンポジウム	東京	7号4 "	
	12月1日(金)	薄板構造および立体構造に関する 研究発表会	東京	7号9 "	
	お知らせ	■第4回世界地震工学会議(4WCEE)論文募集について			7号9 "
		■第13回国際道路会議			7号9 "

コンクリート標準示方書解説領布

コンクリート標準示方書解説ができました。本書は先に刊行した標準示方書の条文を詳細に解説した技術者必携の書です。

体 裁：A5判 356 ページ

定 価：1 300 円 会員特価：1 000 円 送 料：150 円

昭和 42 年度土木学会夏期講習会開催について

コンクリート標準示方書および同解説を中心に、人工軽量骨材コンクリート設計施工指針（案）、プレパックドコンクリート施工指針（案）、鉄筋コンクリート工場製品設計施工指針（案）、等を含め、このたびの改訂あるいは制定にご努力いただいた委員長、主査、幹事の方々により、下記のとおり夏期講習会を開催いたしますのでふるってご参加下さるようご案内申し上げます。

1. 期 日：1967 年 8 月 3 日（木）、4 日（金）の 2 日間
2. 場 所：厚生年金会館大ホール（東京都新宿区番栗町 19）
3. 参 加 費：会員 1500 円 非会員 2000 円（いずれもテキスト代を含まず）
4. テキスト：（1）コンクリート標準示方書
 （2）コンクリート標準示方書解説
 （3）人工軽量骨材コンクリート設計施工指針（案）
 （4）プレパックドコンクリート施工指針（案）
 （5）夏期講習会資料（鉄筋コンクリート工場製品設計施工指針第一次（案）を含む）

5. プログラム：（予定）

第 1 日（8 月 4 日）

9.30～9.40	開 会 換 拶	土木学会会長
9.40～10.10	(1) コンクリート標準示方書改訂にあたって	東 大 国 分 正 胤
10.20～12.10	{(2) 無筋コンクリート標準示方書総論 (3) 無筋コンクリート標準示方書各論	国 鉄 技 研 樋 口 芳 朗
		日 本 セ メ ン ト 山 崎 寛 司
13.00～15.50	{(4) 鉄筋コンクリート標準示方書総論 (5) 鉄筋コンクリート標準示方書各論（1） (6) 鉄筋コンクリート標準示方書各論（2）	交 通 技 術 河 野 通 之
		東 大 松 本 嘉 司
		国 鉄 構 設 尾 坂 芳 夫
16.00～16.50	(7) コンクリート舗装標準示方書総論、各論	建 土 研 伊 東 茂 富

第 2 日（8 月 4 日）

9.30～11.20	{(8) ダムコンクリート標準示方書総論 (9) ダムコンクリート標準示方書各論	電 力 技 研 関 慎 吾
		電 力 技 研 永 倉 正
11.30～12.20	(10) 人工軽量骨材コンクリート設計施工指針（案）	都 立 大 村 田 二 郎
13.30～14.20	(11) プレパックドコンクリート施工指針（案）	港 湾 技 研 赤 塚 雄 三
14.30～15.20	(12) 鉄筋コンクリート工場製品設計施工指針（案）	コ ン ク リ ー ト 杉 木 六 郎 工 業
15.20～15.30	閉 会 換 拶	

6. 申 込 方 法：本誌 6 月号添付の申込書に必要事項をご記入の上参加費を添えて 7 月 15 日までに土木学会事業課宛お申込み下さい。

7. 申 込 先：東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会事業課

コンクリート標準示方書ご希望の方へ

本年の夏期講習会に使用するコンクリート標準示方書を購入ご希望の方は、書店、または土木学会へお申込み下さい。なお、土木学会へお申込みの方は整理の都合上前金をお願いします。

コンクリート標準示方書	B 6 判 438 ページ	定価：1000 円	会員特価：800 円(〒100円)
人工軽量骨材コンクリート設計施工指針（案）	B 6 判 53 ページ	定価：300 円	会員特価：250 円(〒50円)
プレパックドコンクリート施工指針（案）	B 6 判 38 ページ	定価：220 円	会員特価：180 円(〒50円)

注：会員特価は直接土木学会へお申込み分に限りません。

第14回海岸工学講演会

◀ 10月19日(木)~20日(金) ▶

第14回海岸工学講演会はつぎの日程により横浜市において開催いたしますので、多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 場 所：神奈川県薬業会館（横浜市磯子区西町14番11号・電話 横浜 76-3241）・国鉄根岸駅下車徒歩3分
2. 講演会：1967年10月19日(木)~20日(金)（詳細のプログラムは次号に発表）
3. 見学会：1967年10月21日(土) 9.00~17.00
 - 1) コース：横浜駅東口集合（9.00）—横浜港（本牧埠頭）—根岸湾（石川島播磨造船所・日本石油根岸精油所（見学予定））—江ノ島（湘南港）—横浜駅東口解散（17.00）
 - 2) 参加費：500円（バス代および昼食代）
 - 3) 申込先：東京都新宿区四谷1丁目 土木学会海岸工学講演会係
4. 講演原稿締切：1967年7月20日(木)

建設省認定第6回宅地造成技術講習会

◀ 8月28日(月)~9月1日(金) ▶

1. 期 間：1967年8月28日(月)~9月1日(金)（考査は9月2日）
2. 会 場：東京 上智大学
京都 京都商工会議所
3. 受講料：5500円（テキスト代含む）
4. 受験料：500円
5. 締 切：8月20日
6. 申込先：東京会場 社団法人 日本宅地造成協会 東京都新宿区四谷3の5 (351) 3537
京都会場 社団法人 関西宅地経営協会 大阪市北区太融寺町 33 (361) 9387
7. 主 催：土木学会・日本建築学会・日本建築士会連合会・全国宅地造成連合会

第8回構造の軽量化に関するシンポジウム講演募集

— 講演申込締切日 8月31日(水) —

1. 共 催：強化プラスチック技術協会・軽金属協会・高分子学会・自動車技術会・造船協会・土木学会・日本機械学会・日本建築学会・日本航空学会
2. 日 時：1967年11月29日(水)
3. 会 場：土木学会図書館講堂（東京都新宿区四谷1丁目）
4. 趣 旨：最近、強化プラスチック・軽金属・高張力鋼・サンドイッチ材および各種複合材など軽量化用構造材料の開発がすすみ、これに応じて土木・建築・車輛・船舶・航空（宙）機および各種産業機械の構造法・構造工学がかなりの変革をとげつつあります。ここに、構造の軽量化という同一テーマのもとで、9学協会の各専門分野における研究成果を交換しあうことは誠に有意義であると思います。ふるってお申し込み下さい。
5. 講演申込方法：
 - ① 参加学・協会所属の会員は、当該学・協会を通じて申し込む。
 - ② 講演内容はすでに各学・協会で発表されたものでもよいが最近の研究に属するものが望ましい。
 - ③ 講演時間は、20分~30分間とする。
 - ④ 申込用紙には、つぎの事項を必ず記載すること。
 - a 講演題目
 - b 梗概（約100字）
 - c 講演者（連名の場合は登壇者に○印をつける）の各氏名・勤務先・通信先・学（協）会員資格・年令
 - d スライド、8ミリ、16ミリ映写の有無
 - ⑤ 申込締切日：1967年8月31日(木)
 - ⑥ 前刷原稿提出締切日：1967年10月16日(月)
 - ⑦ 前刷原稿は所定の原稿用紙（646字詰）8枚（図表を含む）以内とする。講演申込者には、所定原稿用紙を送付します。

第 4 回衛生工学研究討論会

◀ 9 月 2 日 (土) ~ 3 日 (日) ▶

土木学会衛生工学委員会では恒例により標記討論会を下記のとおり開催いたしますので、ふるって参加されますようご案内いたします。なお、今回は北海道大学衛生工学科設立 10 周年記念行事に付随して開催いたしますことを申し添えます。

1. 主 催：土木学会衛生工学委員会
2. 期 日：1967 年 9 月 2 日 (土)、3 日 (日) の 2 日間
3. 会 場：北海道大学工学部 (次号までに決定)
4. 参 加 費：無 料
5. 講演論文集：参加者の便宜のため当日会場にて実費頒布しますから希望者はお買求め下さい (1 000 円程度の見込み)。

プ ロ グ ラ ム

(第 1 日)

- | | | |
|-------------|---|-------------------------------|
| 9.00~9.10 | 開 会 換 拶 | 衛生工学委員会委員長 板 倉 誠 |
| 9.10~9.30 | (1) 活性汚泥濃度が酸素移動に及ぼす影響 | 東京大学工学部 杉木昭典・松尾友矩・桜井国俊 |
| 9.30~9.50 | (2) 酸素吸収に及ぼす MLSS 濃度の影響について | 在原インフィルコ 井出哲夫・永松定祐 |
| 9.50~10.10 | (3) 活性汚泥法における酸素収支について | 京都大学工学部 合田 健・宗宮 功 |
| 10.10~10.30 | (1)~(5) 討 議 | |
| 10.30~10.50 | (4) 活性汚泥法水処理プロセスの最適化 (流入排水と返送汚泥の槽への分配法) | 京都大学工学部 高松武一郎・内藤正明・橋本伊織・李 錦栄 |
| 10.50~11.10 | (5) 活性汚泥法における基質添加と浄化速度 | 京都大学工学部 合田 健 |
| 11.10~11.30 | (6) 活性汚泥法における物質平衡 | 公衆衛生院衛生工学部 南 部 祥 一 |
| 11.30~11.50 | (7) FAS 法による工場廃水処理 | 栗田工業総合研究所 加藤健司・関川泰弘 |
| 11.50~12.20 | (4)~(7) 討 議 | |
| 12.20~13.20 | 昼 食 休 憩 | |
| 13.20~13.40 | (8) 水保全計画からみた工業立地について | 東京大学工学部 杉木昭典・松尾友矩・田中和博 |
| 13.40~14.00 | (9) 流域都市の汚濁負荷配分について | 京都大学工学部 末石富太郎・労働省東京労働基準局 南本禎亮 |
| 14.00~14.20 | (10) 豊平川における水質変動と汚染因子について | 北海道大学工学部 那須義和・江口静子 |
| 14.20~14.40 | (11) 石狩川上・中流部における汚濁許容負荷 | 北海道大学工学部 神山桂一・丹保憲仁 |
| 14.40~15.00 | (12) 航空写真と模型実験による某湾汚染の予知実験 | 京都大学工学部 井上頼輝・樋口明生 |
| 15.00~15.30 | (8)~(12) 討 議 | |
| 15.30~15.40 | 休 憩 | |
| 15.40~16.00 | (13) 環境基準設定についての衛生工学的考え方 | 北海道大学工学部 井上力太・谷沢平八郎 |
| 16.00~16.20 | (14) 水俣病の本態についての考察 | 東京大学工学部 宇井 純・神戸大学医学部 喜太村正次 |
| 16.20~16.40 | (15) 地域暖房と路線融雪の基本計画 | 北海道大学工学部 射場本勘市郎 |
| 16.40~17.00 | (16) フロックブランクットの除去効果 | 北海道大学工学部 丹保憲仁・穂積 準・小俱勝邦 |
| 17.00~17.30 | (13)~(16) 討 議 | |

(第 2 日)

- | | | |
|-------------|----------------------------------|---------------------|
| 9.30~9.50 | (17) 散水ろ床法による溶解性物質の処理について | 東北大学工学部 松本順一郎・長谷川信夫 |
| 9.50~10.10 | (18) 汚泥の管路流動に関する実験的研究 | 早稲田大学理工学部 遠藤郁夫・鄭 俊錫 |
| 10.10~10.30 | (19) 嫌気性消化法の高率化に関する実験的研究 | 早稲田大学理工学部 遠藤郁夫・近藤千秋 |
| 10.30~10.50 | (20) 除害施設に関する実験的研究 | 建設省土木研究所 柏谷 衛・菅原正孝 |
| 10.50~11.20 | (21) バッテ燃焼式ごみ焼却炉に関する施設基準の問題点について | 中央大学理工学部 内 藤 幸 穂 |
| 11.20~11.50 | (17)~(21) 討 議 | |
| 11.50~12.50 | 昼 食 休 憩 | |
| 12.50~16.20 | 衛生工学に関するパネル討論会 | |
| 16.20~16.30 | 閉 会 換 拶 | |

懇 親 会：第 1 日討論会終了後下記により懇親会を開催いたしますので参加希望者は当日会場でお申し込み下さい。

期 日：1967 年 9 月 2 日 (土) 18 時 30 分~20 時 20 分

会 場：未 定 (次号にて決定)

会 費：1 000 円 (当日会場にていただきます)

第 11 回材料連合講演会

◀ 9 月 8 日 (金) ~ 9 日 (土) ▶

例年のとおり、標記の講演会が日本学会会議材料研究連絡委員会および関係 21 学協会の共催によって、下記の要領で開催されます。プログラムをご希望の方は、土木学会総務課までお申し込み下さい (無料)。

1. 場 所：日本化学会講堂・会議室，明治大学大学院南講堂
2. 講 演：96 題
3. 特 別 講 演：「Photoelasticity, an Expanding Field」Prof. C.E. Taylor

4. 懇 親 会：会費 500 円
5. 講演論文抄録集：700 円（千 70 円）

8 月 25 日までに代金を添えて、東京都千代田区神田駿河台 1 の 5 社団法人日本化学会（電話 東京 292-6161）あてお申し込み下さい（期限内申込にかぎり送料不要）。

第 4 回災害科学総合シンポジウム講演募集

文部省科学研究費特定研究（災害科学）の災害科学総合研究班（研究代表者 理博 長谷川万吉徳島大学長）が中心となり、災害科学に関する研究発表と討議の機会を提供する目的をもって、下記により総合シンポジウムを開催いたしますので、本学会はこれを後援することいたしました。ふるってご参加下さるようご案内します。

1. 期 日：1967 年 10 月 23 日（月）10.00～17.00
24 日（火）9.00～12.00
2. 場 所：仙台市宮城県民会館
3. 講演申込要項：
 - (1) 内 容：異常気象、雪氷災害、河川災害、海岸災害、津波高潮、地盤災害、地震予知、地震動災害、火山噴火予知、農林災害、その他
 - (2) 講演申込締切：7 月 15 日、講演題目、氏名、勤務先および講演内容の概要（400 字以内）を記し、下記宛に申込むこと。
 - (3) 講演要旨の提出：締切 8 月 15 日 所定の用紙 2 枚以内（図表を含む）の講演要旨を下記宛提出のこと。用紙は請求次第送付する。
 - (4) 申 込 先：仙台市片平丁 東北大学理学部地球物理学教室 鈴木次郎 電話（23）5111・内線 3250

第 9 回地震工学研究発表会講演募集

◀ 10 月 25 日（水）～26 日（木）▶

下記により第 9 回地震工学研究発表会を開催いたしますので、講演ご希望の方は、ふるってご応募下さい。

1. 期 日：1967 年 10 月 25 日（水）～26 日（木）
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 募集規定：
 - (1) 講演内容：理論、実験、研究、耐震設計の実測、復旧工事、震害等
 - (2) 申込方法：7 月 15 日（土）までに、題目、講演者氏名（連名の場合は登壇者に○印をつける）、勤務先を明記し、土木学会耐震工学委員会宛お申し込み下さい。
4. 講演概要原稿締切：8 月 25 日（金）

講演内容がわかるように講演概要はオフセット印刷とします。原稿はなるべく研究の考え方を主とし、原稿の長さは 1 題目別上り 4 ページ以内（図表、写真を含み 6480 字）とし、所定の原稿用紙にタイプまたはスミ書きにして下さい。講演の採否は、土木学会耐震工学委員会にご一任下さい。なお、講演時間は、15 分～20 分（質問時間を含まず）の予定です。
5. パネル討論：今回は特定なテーマを設けパネル討論を行いません。

第 17 回応用力学連合講演会講演募集

今回から下記のような限られたテーマで開催されることになりました。お含みのうえご応募下さい。

本講演会を活発にするため、従来の様式をあらため、いくつかのテーマにしぼって盛り上げていく計画をたてました。各テーマごとに、原著論文の部とシンポジウムの部をつくり、シンポジウムの部では特に各学協会から幾人かの方々にお願いすることになりました。今年度のテーマは下記の 4 つです。

1. 講演テーマ：A) 応用力学における高速計算 B) 実験力学 (Experimental Mechanics) における新しい方法
C) 板および殻 D) 衝撃および衝撃波

原著論文についても下記のように募集します。ふるってご応募下さい。

2. 共 催：日本学術会議力学研究連絡委員会・応用物理学会・造船協会・土木学会・日本機械学会・日本建築学会・日

本航空学会・日本数学会・日本物理学会

3. 幹事学会：応用物理学会（東京都文京区向丘1丁目20番8号 木屋ビル内 TEL (812) 0954）
 造船協会（東京都港区芝琴平町35 船舶振興ビル内 TEL (502) 2048）
 日本数学会（東京都文京区本郷7-3-1 東京大学理学部内 TEL (812) 5941）

4. 日 時：1967年10月19日（木）、20日（金）

5. 会 場：東京大学工学部8号館（東京都文京区本郷7-3-1）

6. 申込期日：7月25日（火）、所属学協会必着

7. 申込要領：講演申込みは所属参加学協会を通じて行ない、参加学協会会員以外の方は直接幹事学会に申込みこと。講演内容はすでに発表されたものでさしつかえないが、最近の研究に属するものが望ましい。申込みはB5判の用紙に横書でつぎの事項を記載すること。

（ア）講演題目、（イ）概要200字以内、（ウ）講演テーマ（プログラム編成の都合上テーマは上記参照の上決めて下さい）、（エ）講演ならびに連名者（協力者）の各氏名（連名の場合は登壇者に○印をつけること）・勤務先・通信先・学会員資格・年齢、（オ）スライド（35mmに限る）の有無。

注（1）講演時間は討論を含め1題目20分の子定、お申し込みの際は付記をご覧下さい。

（2）講演の採否は講演会運営委員会にご一任願います。

8. 論文抄録集：聴講者用のテキストとして論文抄録集を作ります。講演者は内容のわかる抄録原稿をつくり、講演申込学会へ下記により必ず期日までに原稿を提出して下さい。

（ア）論文抄録（原稿）提出期日 8月31日（木）

（イ）必ず所定の原稿用紙を用いる。用紙は所属学会から講演申込者に送付します。所定以外の用紙に書いたものは受けません。

（ウ）原稿は用紙に2枚以内（図表、写真を含めて約3200字）にめいりょうにスミ書きすること。

（エ）印刷はオフセットによるもので写真も入れられます。

（オ）原稿の書き方は用紙とともに送付します。

〔付 記〕 日本学術会議力学研究連絡委員会からのお知らせ：

日本学術会議力学研究連絡委員会は、本講演会の欧文論文集を刊行する予定であります。本欧文論文集の原稿に関する執筆要項、用紙などについては追って同委員会から連絡します。

中部支部行事案内 （名古屋市東区東新町10-1 中部電力（株）水力部土木課内） 電話 名古屋（951）8211 内線 3430

技術講座「構造物の理論と計算」

◀ 8月10日（木）～11日（金） ▶

1. 主 催：土木学会中部支部

2. 期 日：1967年8月10日（木）、11日（金）

3. 場 所：名古屋大学土木工学科教室

4. 題目と講師：

第1日（8月10日）

- | | | |
|---|----------------------|---------------|
| | 開会の挨拶 | 中部支部幹事長 奥村徳太郎 |
| ① | 9.05～12.00 合成桁の理論と計算 | 名古屋大学助教授 島田静雄 |
| ② | 13.00～16.00 塑性設計法概況 | 名古屋大学助教授 福本勝士 |

第2日（8月11日）

- | | | |
|---|--------------------------------------|--------------|
| ③ | 9.00～12.00 長大橋における問題点 | 名古屋大学教授 菊池洋一 |
| ④ | 13.00～16.00 Finite Element Method 概説 | 名古屋大学教授 成岡昌夫 |

閉会の挨拶

名古屋大学助教授 川本眺万
 中部支部幹事長 奥村徳太郎

5. 定 員：100名

6. 参 加 費：300円

7. 申込方法：参加希望者は1967年7月31日までに最寄の幹事、または中部支部へ勤務先、連絡先、氏名および会員の種別を明記（様式随意）し参加費を添えてお申込み下さい。

関西支部行事案内 (大阪市東成区中道元町1丁目149番地
電話 大阪(06)981-2510 振替口座 大阪 82599 番)

関西支部年次学術講演会(昭和42年度)

◀ 11月12日(日)9.00~ ▶

1. 日 時:1967年11月12日(日)9.00~17.00
2. 場 所:未定

場所、プログラム、講演概要の頒価およびその他の事項については学会誌10月号に登載の予定です。講演ご希望の方はつぎの講演申込要領をご覧のうえお申込み下さい。

年次学術講演会申込要領

- (1) 講演申込方法:講演希望者は申込カード(4枚複写綴)に部門、題目、スライドの有無、勤務先、会員種別、学位、氏名(連名の時は講演者に○印をつける)、卒業学校名および年次、連絡先を明記のうえ、8月15日(火)までに土木学会関西支部へ必着するよう提出して下さい。申込みカードは関西支部へ請求して下さい。
- (2) 講演内容:講演は未発表のもので原則として1人1題にかぎります。
- (3) 講演時間:1題につき15分の予定です。
- (4) 講演部門:つぎの4部門に分けられますが、都合により講演者の了承を得たうえで部門を変更させていただくことがあります。
- 第1部門:構造力学、構造、橋梁等
第2部門:水理学、水文学、河川、港湾、海岸、発電水力、衛生工学等
第3部門:土質力学、基礎工学、土木機械、施工等
第4部門:鉄道、道路、コンクリートおよび鉄筋コンクリート、土木材料、都市計画、空港、測量等
- (5) 原稿提出要領:講演申込者にはつぎの要領で講演概要の原稿を提出していただきます。
1. 講演概要は講演者の原稿をそのまま縮写してオフセット印刷としますから、必ず所定の用紙をご使用下さい。
 2. 用紙は執筆要領(原稿の書き方)とともに講演申込者に関西支部からお渡しします。
 3. 原稿は9月14日(木)(期限厳守)までに関西支部へ必着するようお送り下さい。
 4. 原稿の長さは1題目につき2ページ(図、表、写真を含め1ページ1480字詰)を原則とします。超過する場合は2ページまで、1ページにつき1000円の製版料を申受けます。
- (6) 講演概要:講演者(○印)には無料、一般は有料、別刷は講演者(○印)には30部無料で差し上げますが、それ以外の取扱いはいたしません。

(付)テキスト代改訂についてお知らせ

セメントコンクリート	改訂頒価	225円	送料	80円
溶接構造	"	200円	"	80円
建設工事と高分子材料	"	200円	"	60円
水理公式集の解説と例題	"	375円	"	80円

以上テキストご希望の方は頒価に送料を添えて、土木学会関西支部(振替口座利用)へお申し込み下さい。

西部支部行事案内 (福岡市警固2丁目11の12・電 福岡 74-1972)

夏期講習会および見学会

◀ 8月24日(木)~25日(金) ▶

1. 講習会日時:1967年8月24日(木)
2. 同 場所:宮崎県宮えびの高原荘
3. 見学会:1967年8月25日(金)
鹿児島市、水搬送法によるシラス輸送(えびの発、12時頃西鹿児島駅前解散)
4. 講習内容:中級技術者を対象として下記機関に講師依頼中
九州地建、第四港建、国鉄、道路公団、九大、熊大、宮大、鹿児島開発事業団
5. 参加料:講習会1000円(テキストおよび中食代を含む)

見学会 700 円 (バスおよび中食代を含む)

6. 宿泊予約料: 300 円 (内払, 1泊2食 1100 円) 不参加の場合払戻しません。
7. 申込方法: 申込書に参加料および宿泊予約料を添えて西部支部に申し込んで下さい。
8. 申込期日および定員: 8 月 10 日まで, 150 名 (先着順)
9. 申込先: 福岡市警固 2 丁目 11 の 12 土木学会西部支部
10. 申込書その他: 申込書および講習会プログラムは各機関の長あて発送しますので, 個人, その他不着の向きは当支部に請求して下さい。
11. 映写会: 23日, 24日夜天草架橋その他の映写をいたします。

薄板構造および立体構造に関する研究発表会論文募集

(第 14 回橋梁・構造工学研究発表会)

今年度は下記により, 標題の研究発表会を開催いたします。論文提出希望者はふるってご応募下さい。

1. 期 日: 1967 年 12 月 1 日 (金)
2. 共 催: 日本学術会議構造工学研究連絡委員会・土木学会・日本建築学会
3. 会 場: 土木学会土木図書館講堂
4. 募集規定:
 - (1) 論文内容: プレートガーダー, 箱げた, シェル構造など薄板構造, 立体構造に関する理論的, 実験的研究ならびに高層建物の立体解析, 設計に関する研究を対象とします。
 - (2) 申込方法: 9 月 9 日 (土) までに, 論文題目, 発表者氏名, 勤務先および 100 字以内の論文梗概をそえて所属学会に申し込んで下さい。採否は学術会議の上記研究連絡委員会におまかせ願います。採用のうへは 9 月 20 日までに講原稿演の提出方をお願いいたします。

第 13 回国際道路会議

第 13 回国際道路会議は今年 11 月 5 日より東京で開催されますので多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日: 1967 年 11 月 5 日 (日)~11 月 11 日 (土)
2. 会 場: 東京プリンスホテル (東京都港区芝公園 3 号地)
3. 会議議題: 第 I 議題 一般報告/第 II 議題 路線計画, 土工/第 III 議題 たわみ性舗装/第 IV 議題 剛性舗装/第 V 議題 交通との関係における道路の構造規格/第 VI 議題 都市内道路網/第 VII 議題 経済問題
4. プログラムその他: 会議事務局を東京プリンスホテル 2 階に開設し, 登録受付, 資料配布ならびに会議に関するインフォメーションを行ないます。詳細は「道路」1967 年 6 月号を参照して下さい。
5. 会議参加要領および申込みについて: PIARC 会員に登録を希望される方, また日本人特別一時会員登録を希望される方は下記宛申し込み用紙をご請求のうえ 9 月 1 日までお申し込み下さい。
東京都千代田区千代田 3-3-3 日本道路協会「第 13 回国際道路会議実行委員会事務局」

第 4 回世界地震工学会議 (4 WCEE) 論文募集

国際地震工学会 (IAEE) リニイ会長から, 第 4 回世界地震工学会議 (1969 年 1 月 13 日~18 日, チリ一国において開催) の論文募集要項が送られてきましたので, その要旨および論文応募方法, プログラムをお知らせします。詳細をお知りになりたい方は所属学会にお問い合わせ下さい。

4 WCEE への応募論文は IAEE に設けられる選考委員会がその採否を決定しますので, これまでのように, 日本から提出される論文について, 国内でとりまとめることは致しません。応募者があらかじめ 1 ページ梗概を直接先方に送付していただくことになっております。

ただし, IAEE 国内委員会として, 提出内容を知っておくことが必要と考えますので 1 ページ梗概の写しを所属学

会 告

会宛にご送付下さるようお願いいたします。

IAEE 国内委員会委員長 久 田 俊 彦

(1) 論文募集要旨

- a) 発表論文の内容は地震動から震害補修にわたるひろい分野を含む。
- b) プログラム案では
12分発表論文 120編 (セッション A1~A6, B1~B6)
特別論文 約10編 (セッション J2, J4)
の発表が予定されている。
プロシーディングスには上記論文のほか、20~30編の読まれない論文の梗概をのせる。
- c) 論文の執筆要領は3WCEEの場合と同様である。
- d) 論文応募希望者は英文1ページ梗概(これにさらに本文4ページ分までの表、図、写真を1ページに縮小したものを添えることができる。したがってこの場合は合計2ページとなる)を1968年1月1日必着で下記宛に送付する。

Professor Graham H. Powell
416 McLaughlin Hall
University of California
Berkeley, California, 94720, U.S.A.

- e) 各セッションごとに設けられる選考委員会(3人で構成)が梗概によって論文の選考を行なう。その結果全文の提出を求められた著者は1968年5月1日までにこれを提出する。最終採択は1968年6月1日までに決定される。

(2) プログラム(予定)

期 日	時 刻	セッション No.	セッションテーマ	論文発表 題 数
1869/ 1/ 1	10:00 --	J 1	Opening Session	
	2:00 --	J 2	Observations in recent earthquakes	5-6 題各 30 分
1969/ 1/14	9:00 -- 12:20	A 1	Seismicity and Ground Motion	10 12
		B 1	Construction Materials & Elements	10 12
	2:00 -- 5:20	A 2	Response of Structures	10 12
		B 2	Design of Small Buildings	10 12
1969/ 1/15			見 学 旅 行	
1969/ 1/16	9:00 -- 12:20	A 3	Soils and Soil Structures	10 12
		B 3	Design of Large Buildings (B 2 と 適 当 に わ け る)	10 12
	2:00 -- 5:20	A 4	Foundations and Soil Structure Interaction	10 12
		B 4	Design of Other Structure (Other than buildings & Soil Structures)	10 12
1969/ 1/17	9:00 -- 12:20	A 5	Design Criteria	10 12
		B 5	Construction Practices	10 12
	2:00 -- 5:20	A 6	Research Programs	10 12
		B 6	Repair and Strengthening Structures	10 12
1969/ 1/18	9:00 --	J 3	IAEE Business Meeting	
	2:00 --	J 4	Special Papers	4 (招 待)

○論文の教および発表時間は応募状況による

○各セッションの運営は座長の責任で行なう。座長はレポーター法またはモデレーター討論法のどちらでも採用できる。